

平成27年 第5回 教育委員会臨時会議事録

招集日時 平成27年5月11日（月曜日） 午後1時30分開会／午後3時00分閉会
招集場所 加賀市市民会館2階 第7会議室
出席委員 上田政憲、中西修一、酒谷百合子、山下裕嗣、山下修平
会議列席者 山田次長兼学校指導課長、梶谷教育庶務課長、西出生涯学習課長、中田スポーツ課長、
田嶋文化財保護課長、河崎屋中央図書館長、柏田山中図書館長、奥村マラソン開催推進室長、
渡部教育庶務課長補佐

上田委員長

平成27年第5回教育委員会臨時会開会宣言

挨拶

忙しかった4月も終えてGWは、お天気もよかったですから、骨休みにはならなかった
かもしれませんが、みなさんいかがでしたでしょうか。

学校の方はGW過ぎて少し落ち着いてきたのではないのでしょうか。

今日は、来年度から使用する中学校の教科書の選定についての議案が2つございま
す。

では、さっそく審議の方に入っていきたいと思います。

議案第34号、議案第35号について山田次長お願いいたします。

- 議案第34号 平成27年度加賀市立中学校教科用図書採択委員会委員の委嘱につ
いて
- 議案第35号 平成27年度加賀市立中学校教科用図書選定種目別研究員の委嘱につ
いて

山田次長 資料に基づき説明

上田委員長

ただいま、ご説明いただきました、来年度から使用する中学校の教科書採択委員の6
名のお名前、そして教科書別研究員のお名前をいただいたわけですが、これにつ
いて何かお聞きになりたいことはございませんか。

採択委員の方は、問題ないかと思いますが、種目別研究員につきましては、当初配
られたものと少し変わっておりますので、そのあたり、何かお気づきのことありま
したらお願いいたします。

打合せとかはないんですか。

山田次長

この会だけです。協議もしないし、秘密裏で行うということになっております。

酒谷委員

個人の方々には、もうお願いをしているんですか。まだ一切お話していないんです
か。

山田次長

まだ一切しておりません。

酒谷委員

この方たちが選ばれるというのは一切分からないんですか。

山田次長 正式には分からないことになっています。

酒谷委員 お一人お一人が、ご自分の家で資料を広げてなされるっていうんですが、お話し等は一切ないんですね。

山田次長 2回会合がありますが、資料を基に自分で資料を作って、2回目にそれを持ち寄って、そこで相談されるということになります。

酒谷委員 一人一人が資料を持って、会合に集まって、その上で検討なされるわけですね。

山田次長 2回目は、持ち寄った意見をまとめて1つの研究成果を文章にする。

酒谷委員 例え、同じものを、お選びになるということは分からないんですね。すると1つのことについて意見を取りまとめてこちらに出されるということですか。

山田次長 2回目は、持ち寄った意見をまとめて1つの研究成果を文章にする。

酒谷委員 まとめたものが、もし違った場合は、どうするんですか。

山田次長 もし違った場合は、そこで協議をします。

酒谷委員 その種目に関しては、これというものを、決めるわけなんですね。

山田次長 1つの意見を持っていただくことになります。

山下教育長 そこで、この教科書を、というところまでは決めません。

酒谷委員 この教科書はこうでした、この教科書はこうでしたという特徴的なものを挙げて、良いところと悪いところを発表する。

酒谷委員 そして、それを採択委員会に挙げるわけですね。

山田次長 それを採択委員会の方で決めるということですね。

酒谷委員 県の資料と、図書館とか教科書センターでの教科書展示の意見と、そしてこの研究員の調査と、この3つの資料を総合して採択委員の6名の方で決める。

酒谷委員 分かりました。

上田委員長 これが一番いいかな、これが次かなという、おおまかな所まで採択委員会の方で決めます。

全委員 全員挙手により可決

上田委員長 これにて、審議事項は終わりですので報告事項に入りたいと思います。

● 報告第12号 平成27年度加賀市教育委員会施策について

梶谷課長 資料に基づき説明

各課 資料に基づき説明

上田委員長 報告第12号について、梶谷課長お願いします。

上田委員長 各課から、目標・課題・具体的な取り組みについてご説明をいただきました。どの課からでも結構です。質問ご意見等、何かございませんか。

ないようですので、具体的な施策を実行していくというのが大事なことから、よろしくお願ひしたいと思ひます
報告第13号、山田次長お願ひします。

- 報告第13号 平成27年度計画訪問の日程について
山田次長 資料に基づき説明

上田委員長 これについて何かお聞きになりたいことはございませぬか。
小学校が1校減りましたけども、たくさんありますね。去年と比べて11月の方が、ちよつと増えて、5月が減ったようですね。
これについて何かお聞きになりたいことはございませぬか。

山下委員 午前、午後という時間帯ですけども、おおむねの学校内での拘束時間は何時から何時くらいでしょうか。

山田次長 おおむね、午前中の場合には給食を食べてられて帰るというようなことになりますので、だいたい午後1時頃ですね小学校と中学校で若干違ひますが、だいたい1時頃です。そして、午後までとなりますと、5時間目の研究授業をご覧になってということになりますので、だいたい午後3時頃です

山下委員 スタートは。

上田委員長 学校の規模によって違ひます。事前にご連絡が必ず来ます。

山田次長 要項が、各学校から届きます

山下委員 今のところでは、ある程度の目安は付くんですけども、例えば、直前になってこの日は午前中、難しくなりましたというのでも、連絡をしたら大丈夫ですか。

山田次長 例えば、給食の用意とかの都合もありますので、わかり次第、事前にご連絡いただけたらと思ひます。

山下委員 わかりました。ありがとうございます。

上田委員長 他、ございませぬか。今週中にご連絡をしたらよろしいですか。

山田次長 今週中にご連絡お願ひいたします。

上田委員長 では、よろしくお願ひいたします。
では、その他にまいります。
加賀市学校適正規模検討委員会の開催について、梶谷課長お願ひします。

- 加賀市学校適正規模検討委員会の開催について
梶谷課長 説明

梶谷課長 学校適正規模検討委員会は26年度に立ち上げまして、4回実施しておりますし、中学校区では意見交換の場として開催しております。
年度またぎまして、委員の方は引き続き、継続でやっていただくということで、前回4回目である程度方向性は示しているんですけども、具体的なものである程度最終の報告に近いものを出せばなと思ひております。

それを受けまして、修正したもので6回目、7、8月頃を予定しております。それで結論を出す。その後、この委員会の方から教育委員会の方に答申がされると、それに基づきまして教育委員会の方で審議して、次の段階に入るといことです。

第5回目を5月26日火曜日、午後1時半から開くということでございます。

こちらは、報告でございました。

上田委員長

その他のその他、何かございますか。

- 加賀温泉郷マラソン2015開催結果について
奥村室長 資料に基づき説明

上田委員長

何かございませんか。

酒谷委員

宿泊が少ないんですね。

奥村室長

そうですね。最初からの申し込みは、もう少し期待していたんですが、少なかったです。

酒谷委員

総湯の方の利用客も、ずいぶん減ってますね。

奥村室長

前回、かなり混雑がありまして、一般の方々から苦情と申しますか、クレームと言いますか、ありまして、ちょっと分散させたいというのもありましたので、その点では良かったかなと。ですが総数では減ってますので、その点は次回以降の課題にしたいと思います。

酒谷委員

この、走られる方は初めての方が多いのでしょうか、それとも毎回出てらっしゃる方が多いのでしょうか。

奥村室長

すいません、その辺の数字の方は把握しておりません。

上田委員長

他、何かございませんか。推進室の方では、結果を分析したり来年度の準備に入るわけですね。

奥村室長

5月31日までは、組織委員会の会計年度ということですので、5月31日時点で締めて、来月からは次回大会に向けてというふうになります。

山下教育長

各いろんな関係団体との、細かい反省があると思うんですが、おおまかには成功したなどは思うんですけども、個々のそういう反省会はあるんですか。

奥村室長

今月中には何らかの形で開催したいと思っております。

特になければ、その他のその他、河崎屋館長お願いします。

- GWの状況について
河崎屋館長 報告

河崎屋館長

4月29日水曜日の昭和の日から、5月6日水曜日の振り替え休日までのGWの状況についてご説明申し上げます。

図書館条例、昨年改正いたしまして初めての大型連休ということで、その状況について説明させていただきます。端的に申し上げまして、非常に静かな穏やかな日々でございました。4月29日昭和の日から、5月6日振り替え休日までの、祝日のみ平均貸出利用者数は、1日あたり150人弱、先月4月の前日の平均の貸出利用者数は1日あたり230人あまりでございますので、約35%減、人数にすると80人減ってございまして約65%になってございます。

5月4日みどりの日は、雨の日でございましたし月曜日休館というのが頭にあるのか、貸し出しの利用者数は100人ということで、半数以下となってございます。また中央図書館の入口にあります計測器で、ご来館者数を見てもみますと、平日のみのご来館者数は338人で、先月4月の平均389人でございますので、ご来館者数に関しても13%減と約50人余り減となっております。

そのご利用が少なくなった理由といたしましては、5月4日が雨以外は、すべて晴れ、好天に恵まれたものですから、多くの方々が行楽に出られたのかなと思います。

祝日開館いたしましたことで、祝日5日間の延べの貸出利用者数は735人となりまして、ご来館者数としましては1691人と、大変多い人数でございまして、年間に関しては大変良い実績になると思っております。

昨年、平成26年の開館対象となる国民の祝日は7月21日の海の日から、本年の2月11日の建国記念の日まで、合わせまして8日間ございました。この8日間の貸出利用者数の平均は161人でございまして、今回より10人余り多いということになります。これは祝日が単独で、連続していなかったこと。祝日のうち月曜日にあたる祝日が5日間ございました。そのトータル135人でございますので、残り平日3日間で貸し出しの人数が205人になってまして、まだまだ月曜日休館ということ、みなさん覚えていらっしゃるということがあります。今回のGWの状況をふまえて、今までも休日開館ということは、ご説明しておりますけれども、みなさまにお知らせしていくことに努めていきたいと思っております。

簡単ではございましたが、ご報告させていただきました。

上田委員長

細かい調査をありがとうございました。

当然のことながら、お天気にも左右されますし、続いているかどうかとも左右されますね。

それでは、その他のその他で、他何かございませんか。

山下教育長

GWに小中学生、高校生を連れて、アメリカのロボレーブの世界大会に行ってきたので、そのことについて触れます

市長と私と通訳の人と先に行ってまして、あと小学生、中学生、高校生は3日ほど遅れて、その2隊で別れて行ったんですけども、アメリカのアルバカーキ、ニューメキシコ州、メキシコとの国境でアメリカの最南端の所です。砂漠地帯というか、荒野が永遠と広がっている、地平線が見えるような、そうゆうとこでした。

まず、4月28日にアルバカーキの市長の所へご挨拶に市長と私で行って来ました。29日には、その隣のリオ・ランチョという市の市長の所へ挨拶に行って来ました。

そこは、9万人くらいの都市で、加賀市と比較的似ている、ここ何年間かで急激に人口が増えたということで、市長が大変興味を持って、どうしてそうなったのか聞いてましたけども、インテルとかヒューレット・パッカードとか、そういうコンピューター会社が基幹産業であるということです。こことは、ロボット教育推進を通じた友好都市交流を進めるということで話が一致しました。

姉妹都市協定は、今後そういうのから見て、どう進めていくかという今後の話になっていくかなと思います。

そのあとは、ロボット教育の最先端をいってる中学校1校高校1校を見学しました。高校では、今、日本で話題になっているドローンを高校生が作って、今大会では、そのドローンの競技もあったということで、そちらに参加するということでした。ドローンは将来を支えるロボットになるだろうというようなことで、すごく力を入れてるということでした。

それから、インテルの方にも表敬する予定で行ったんですが、受付までして待ってたんですが、担当の人が結局出てきてくれず、キャンセルになりました。

アメリカでは、そういう風なことがたまにあるそうで、せっかくインテルが見れるかなと思ってたんですが、残念ながら見れませんでした。

30日には、ニューメキシコ大学の経済開発事務所とスイジクラスソリューションという会社2つを見て、午後は、子供たちのロボットの大会に向けての練習を見ました。

1日はいいよ、そこから予選が始まり開会式があったんですけども、1つは、決勝まで行って、たぶんいいとこまで行くんじゃないかと言われたチームがあったんですが、ピンポン玉をどれだけ決められた時間でたくさん収納できるかという競技だったんですが、私たちが見ていた1日の時点では、そこそこ良い結果で、これなら次の日、決勝行けるなあ、と思っていたんですが、帰ってきて新聞の結果を見たらダメだったってことで2日目うまく行かなかったのかなと。

あぁいう精密な物ですから、その場その場で微調整をしないといけないので、どうもうまくいかなかったのかなと思います。

私たちは、2日の早朝に日本に向かって帰ってきたんですが、子供たちは、そこからもう1日いたということです。

印象としては、コロンビアは力を入れていて60名くらい参加してました。会場は、スポーツセンター位の大きさが、会場内に3ヶ所、4ヶ所ある。小学生の部、中学生の部、高校生の部とやっているという、加賀市で今年11月の3連休にやるんですけども、とてもあんな施設はないなと、今年はスポーツセンターだけで、そんなにたくさん集まらないと思うんですが、発展していった時は、これから場所も考えなければいけないですね。

日本人の子供たちは、やっぱりあぁいう場所に行くと、ちょっと引っ込み思案になるというか、開会式でも他の国の子たちは、バーっとステージの方に上がるんですけども、日本の子は、なかなかそういうことができないというか、やはり国民性というか性格が出ていたかなと感じます。

やはり、これから、そういう所に行っても、どんどんアピールできるような子を作
っていかないといけないかなという感じがしました。

ただ、そういう世界大会を肌で感じ参加できたということは、すごいかたと、今度
やるときはまた頑張ってくれるんじゃないかなと思います。

小学生1人と中学生3人と大聖寺実業高校の4人が参加しました。

以上です。

上田委員長

ロボレーブ大会のことは、連日のように新聞に出ましたので、読ませていただきま
した。最初に出たのは、4月28日でしたでしょうか。その日に県の市教育委員長会
議があって、そこでは今年度の教育委員会の施策っていうのを、ちょっと紹介して
きたんですが、その中に国際交流とサイエンステクノロジー教育、さつき山田次長
からもご説明ありましたけれども、ちょっと紹介してきたんです。

もう一つは能美市の中学校ですか。

山下教育長

三木小1人、錦城中1人、片山津中1人、寺井中1人。多文化ネットの所でロボ
ットのクラブデータをやってる子らです。

上田委員長

それと大聖寺実高の3年生が4人ですね。

表日本と裏日本の比較は、あまりできませんが、ちょっと引っ込み思案かなとい
うのはありますね。

今の意見で、何かお聞きになりたいことはございませんか。

梶谷課長

次回、第6回の定例会ですが、5月25日に総合教育会議が1時から2時までありま
すので、引き続き可能であればということで、よろしいでしょうか。

上田委員長

分かりました。5月の定例会は総合教育会議終了後ということで、よろしくお願
いいたします。

以上で、第5回臨時会を終了したいと思います。

ご苦労様でした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。